

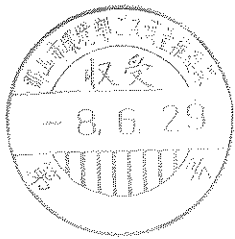
様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2026 年 6 月 24 日

郡山市長 殿



提出者

住 所 福島県郡山市字石塚111番地

氏 名 パナソニック インダストリー株式会社
郡山拠点 郡山工場

拠点長 平井 昌吾

電話番号 024-944-2870（代表）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他の処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	パナソニック インダストリー株式会社 郡山拠点 郡山工場
事業場の所在地	福島県郡山市字石塚111番地
計画期間	2026 年 4 月 ～ 2027 年 3 月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	1831 電気機械器具用プラスチック製品製造業
② 事業の規模	生産金額 57,607百万円（2025年度）
③ 従業員数	535人（2026年 3月末日現在）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙（1）参照

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙(2) 参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(2025 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	レジックロス
	排 出 量	767.17 t	196.6 t
	(これまでに実施した取組) 【廃プラスチック】 ・着地有価化として展開中 【レジックロス】 ・分別化実施中		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	レジックロス
	排 出 量	763.0 t	226.0 t
	(今後実施する予定の取組) 【廃プラスチック】 ・分別化推進し、再資源化へと移行したい ・生産工程にて工法改善により削減予定 【レジックロス】 ・分別化推進し、再資源化へと移行したい		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・分別、有価化出来るものは実施中
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・分別、有価化出来るものを検討中

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙(2)参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(2025年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥
	排出量	523.26 t	68.83 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【木くず】 【汚泥】		
	・生産工程にて工法改善により削減		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥
	排出量	523.0 t	65.0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	【木くず】		
	・生産工程にて工法改善により、さらに削減も予定		
	・木パレットの有価化を検討中		
	【汚泥】		
	・生産工程にて工法改善により、さらに削減も予定		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	・分別、有価化出来るものは実施中
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	・現状維持で問題なし

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙(2) 参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 2025 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	蛍光灯	水銀灯 HIDランプ	電池類
	排出量	0.219 t	0.004 t	0.185 t
	(これまでに実施した取組) ・分別、有価化出来るものは実施中			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	蛍光灯	水銀灯 HIDランプ	電池類
	排出量	0.1 t	0.004 t	0.1 t
	(今後実施する予定の取組) 【蛍光灯】 【水銀灯】 【電池類】 ・生産工程にて工法改善により削減予定			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・分別、実施中
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状維持で問題なし

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙(2) 参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(2025年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	廃油
	排出量	/ 35.05 t	21.264 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	廃油
	排出量	20.0 t	21.0 t
	(今後実施する予定の取組)		

【ガラスくず、コンクリートくず、及び陶磁器くず】【廃油】

- ・分別化推進し、再資源化へと移行したい
- ・生産工程にて工法改善により削減も予定

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	・現状維持で問題なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	・現状維持で問題なし

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙(2)参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(2025年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸
	排出量	7.69 t	397.12 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸
	排出量	8.0 t	390.0 t
	(今後実施する予定の取組) 【廃アルカリ】 【廃酸】 ・生産工程にて工法改善により削減も予定		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状維持で問題なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状維持で問題なし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	— t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t	— t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 2025 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 2025 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	レジクロス
	全処理委託量	767.17 t	196.6 t
	優良認定処理業者への処理委託量	681.36 t	196.6 t
	再生利用業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
・再生再資源化方向へ可能な物は移行 ・生産工法改善			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 2025 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 2025 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥
	全処理委託量	523.26 t	68.83 t
	優良認定処理業者への処理委託量	125.27 t	50.79 t
	再生利用業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
	・生産工法改善（排出削減）		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 2025 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 2025 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	蛍光灯	水銀灯 HIDランプ	電池類
	全 処 理 委 託 量	0.219 t	0.004 t	0.185 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	— t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t	— t
	(これまでに実施した取組)			
	・再生再資源化方向へ可能（分別）な物は移行 ・生産工法改善（排出削減）			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 2025 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 2025 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	廃油
	全処理委託量	35.05 t	21.264 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	21.264 t
	再生利用業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
	・再生再資源化方向へ可能な物は移行 ・生産工法改善		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 2025 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 2025 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸
	全 処 理 委 託 量	7.69 t	397.12 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	7.69 t	397.12 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
	・生産工法改善		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	レジンクロス
	全 処 理 委 託 量	763.0 t	226.0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	678.0 t	226.0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ 処理業者を開拓し、現在再資源化出来ていない物も 再資源化へと移行したい		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥
	全 処 理 委 託 量	523.0 t	65.0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	126.0 t	51.0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ 処理業者を開拓し、現在再資源化出来ていない物も、 再資源化へと移行したい		
※事務処理欄			

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	蛍光灯	水銀灯 HIDランプ	電池類
	全 処 理 委 託 量	0.1 t	0.004 t	0.1 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.1 t	0.004 t	0.1 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	— t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)			
	・ 処理業者を開拓し、現在再資源化出来ていない物も再資源化へと移行したい			
※事務処理欄				

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	廃油
	全 処 理 委 託 量	20.0 t	21.0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	2.0 t	21.0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ 処理業者を開拓し、現在再資源化出来ていない物も再資源化へと移行したい		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸
	全 処 理 委 託 量	8.0 t	390.0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	8.0 t	390.0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ 処理業者を開拓し、現在再資源化出来ていない物も 再資源化へと移行したい		
※事務処理欄			

別紙(1)

①産業廃棄物の一連の処理の工程

廃棄物名	廃プラスチック	レジンクロス	木くず
発生工程	乾燥	原材料	原材料
処理方法 処理業者にて	破碎、燃料	破碎	破碎、燃料

廃棄物名	蛍光灯・水銀灯 電球、ガラス屑	乾電池	汚泥
発生工程	各工程	各工程	エッチング
処理方法 処理業者にて	リサイクル 再資源化	リサイクル 再資源化	焼却

廃棄物名	廃アルカリ	廃酸	廃油
発生工程	プレマルチ 内層処理	プレマルチ 内層処理	各工程
処理方法 処理業者にて	中和・混合燃料化	中和・混合燃料化	焼却

別紙(2)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項
(管理体制図)

